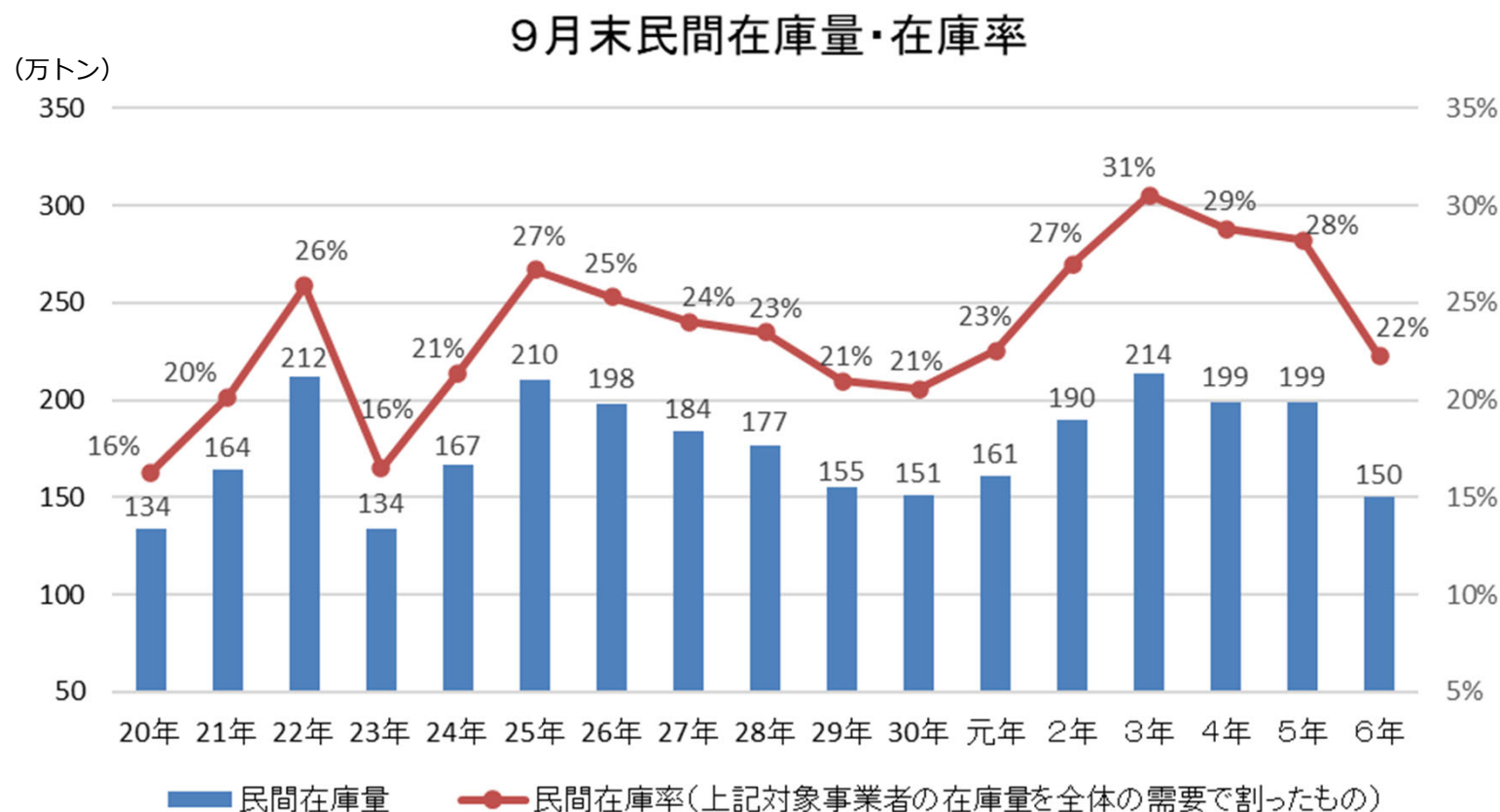


令和6年9月末民間在庫量のポイント

- 毎月公表している民間在庫量は、①500トン以上の集荷業者、②4,000トン以上の卸売業者が対象。およそ民間の流通在庫全体の75%をカバー(別紙参照)。
- 令和6年9月末の民間在庫量は150万トンとなり、平成23年9月末(134万トン)を上回り、平成30年9月末(151万トン)とほぼ同水準。
- 在庫率としては、令和6年9月末は22%であり、平成23年9月末(16%)を上回り、平成29年から令和元年9月末(21~23%)とほぼ同水準。

※ 在庫率は上記対象事業者の在庫量を全体の需要で割ったもの。



※22年以前は、政府備蓄米の運営を回転備蓄方式で実施していたため、政府備蓄米がこの他に主食用米として販売されている。

(参考) 毎月公表している民間在庫量の調査対象の範囲

	出荷段階	販売段階		生産段階
	年間取扱 500トン以上	年間取扱 4,000トン以上	年間取扱 500～ 4,000トン	
うるち米	【毎月調査ベース】 6月末在庫 115万トン ↓ 9月末在庫 150万トン			
もち米				

【米の基本指針ベース】
153万トン
(※6月末のみ調査)